

令和2年度（第59回）農林水産祭「内閣総理大臣賞」の受賞について

令和2年度（第59回）農林水産祭の農林水産祭中央審査委員会が開催され、水産部門において石巻市の末永海産株式会社が内閣総理大臣賞を受賞しました。

1 受賞内容

賞	部門	受賞者		受賞品
		住所	氏名等	
内閣総理大臣賞	水産	石巻市	末永海産株式会社 (代表 末永 寛太)	漁師の潮煮3種セット (牡蠣，帆立，ホヤ)

2 受賞の経緯と受賞品の特色

- 令和元年に開催された「第30回全国水産加工品総合品質審査会」において、最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞し、農林水産祭の三賞の選定対象となっていた。
- 石巻の漁師が言い伝えてきた「炭火で炙った殻付きの牡蠣や帆立から出てくる旨味エキス（潮）ごと一緒に食べるのが、一番美味しい。」というその食べ方と旨味，生に近い食感を出すため，素材の旨味を引き出す独自の低温加熱製法により再現し，商品化した。

3 表彰式

表彰は，令和2年11月23日（月・祝）に明治神宮会館（東京都渋谷区）で開催される農林水産祭式典において行われます。



受賞品：漁師の潮煮3種セット
(牡蠣，帆立，ホヤ)

農林水産祭とは（実施主体：農林水産省，公益財団法人日本農林漁業振興会）

国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに，農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため，昭和37年から国民的な祭典として実施されている。

過去1年間の農林水産祭参加表彰行事において，農林水産大臣賞を受賞した者から，7部門（農産・蚕糸，園芸，畜産，林産，水産，多角化経営，むらづくり）ごとに，天皇杯，内閣総理大臣賞，日本農林漁業振興会会長賞の三賞が選ばれる。

令和2年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要

水産部門

漁師の潮煮3種セット

○氏名又は名称 末永海産株式会社(代表 末永 寛太)

○所 在 地 宮城県石巻市

○出 品 財 産物(水産加工品)

○ 受 賞 理 由

・地域の概要

石巻市は、宮城県の東部、仙台平野の東側中央部に位置し、東を仙台湾、南を阿武隈高地、西を奥羽山脈、北東部を北上山地等に囲まれた、多種多様な魚介類が豊富に水揚げされる水産都市である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

出品財は、石巻の漁師が言い伝えてきた「炭火で炙った殻付きの牡蠣やホタテから出てくる旨味エキス(潮)ごと一緒に食べるのが、一番美味しい。」というその食べ方と旨味、生に近い食感を出すため、素材の旨味を引き出す独自の低温加熱製法により商品化し、独自の低温加熱製法でそれを再現した。

・受賞者の特色

(1)素材へのこだわり

新鮮な生の素材に塩も水も使わずに加熱調理しているため、最も重要となる要素は鮮度である。ホヤ、ホタテの原料調達は、早朝5時前に冷却した殺菌海水をタンクに入れて県内の契約した生産者から原料を受け取り、自社のむき身工場まで運んで即日加工処理し、製品化凍結まで行う。牡蠣については県内で評価の高いものを厳選して自社に持ち帰り、24時間浄化を行って剥き加工の翌日には製品化、凍結まで行う。

(2)新たな販路開拓への取組

震災後、販路を開拓・拡大するため、直販事業部、輸出事業部、EC事業部を新たに創設した。また、これまでとは違った客層が取り込めるよう、宮城県等の紹介による復興アドバイザーやデザイナーと商品コンセプトの説明や試食等を繰り返しながら協力・助言を得て、顧客ターゲットやニーズを明確に見定めた商品創りを行った。

・普及性と今後の発展方向

末永海産の会長、社長は代々続いている漁師の系譜であり、石巻の価値の源泉は漁師にあるとの理念の下、石巻で獲れた海産物を最大限に活かすことを使命として活動してきた。今後は、石巻の資源を活用した陸上養殖など養殖等の生産分野にも挑戦したいと将来を見据えている。

※引用元：令和2年10月7日 農林水産省、(公財)日本農林漁業振興会 プレスリリース

「令和2年度(第59回)農林水産祭天皇杯等の選賞について」